

峰高生の皆さんへ

【はじめに】

先週木曜日に京都府も緊急事態宣言の解除がなされました。とりわけ北部地域は、新たな感染者が約1ヶ月間も出ていないという状況を踏まえ、南部地域に先行する形で先週から段階的に準備を始め、本日、正式に学校が再開されました。

希望進路実現に向けた学習が本格化し、やがて諸行事への取組や部活動も徐々に始まっていくものと思います。二兎も三兎も全力で追いつけるという、忙しいですが充実した峰高生らしい日々が戻って来ると思います。

【3年生の皆さんに・・・】

しかしながら3年生の皆さんの多くは、この間、インターハイ、夏の甲子園などの京都府予選や各種大会・発表会の中止により、自分自身を支えることができないくらいの大きなショックを受け続けました。そして高校生活の全てを注ぎ込んできたと言っても過言ではない部活動に、多くの皆さんが一旦「ここで」一つの判断をせねばならない時が来たようにも思います。

今後、何らかの公式戦などに代わる大会等を夏以降に設けるという動きはありますが、もう少し最終決定までには時間がかかるかと思われます。

今の悔しい気持ち、苦しい気持ちを、無理に押さえ込むのではなく、無理をして断ち切るだけでなく、顧問の先生方や同じチームメイトと自らの気持ちを出し合いながら、何とか少しずつでも、前に進んでくれることを、心より強く強く願いたく思います。

【2年生の皆さんに・・・】

2年生、今の3年生の様々な思いを後輩としてしっかりと受け止めて欲しく思います。そして先輩・3年生がこれからの学校生活の中でどのように頑張るのか、その姿をしっかりと応援し続け、最後まで見届けて欲しく思います。それらが2年生の皆さんの日々の変わらない毎日であっても、これからの一日一日の高校生活を大切にすることに繋がっていくと信じます。峰高を支えてくれる2年生の「底力」を大いに期待したく思います。

【1年生の皆さんに・・・】

そして1年生、峰高生になって10日ほどでの臨時休業でした。高校生になったという実感よりも、はるかに戸惑いや不安の方が大きいと思います。でも、皆さんは確かに高校生であり、そして「峰高生」の一人です。入学式の時にも言いましたが、1年生の皆さんは、18歳で成人となる最初の学年となります。この試練のときが、皆さんを少し大人に近づけてくれたことを願っています。

【希望進路実現について】

次に希望進路の実現に向けてですが、この約1か月にも及んだ休業の中で、初めての自学自習を基本とした学習スタイル。皆さんの多くが、希望進路実現に向けての学力が付いているのか、大きな不安を抱えていることと思います。

今、皆さんは大きな試練を与えられ、「心の強さ」「学力の確かさ」を試されています。そして、その試練は、皆さんの希望進路の実現に向けて指導する側の私たち教職員も同様です。私たちにも、皆さんの進路をしっかりと保障できるかという試練を与えられ、そして試されています。

進路実現は「団体戦」という言葉は、皆さんだけの言葉ではなく、私たち峰高教職員のすべてを含めた言葉としての「団体戦」です。まさに、ワンチームとして皆さんとともに団体戦を闘えればと、心より願っています。「神様は、乗り越えられる試練しか、私たちに与えていません」

【感染予防について】

最後に皆さんに改めてのお願いをします。この後、指導や注意がありますが、今後は3密（密閉・密集・密接）を絶対に避けること、マスクの着用や咳エチケットの励行を基本として、皆さんには接触感染、飛沫感染によるリスクを最小化する、互いに濃厚接触者にならないための、「**新たな行動様式**」での学校生活を送ることが求められます。

皆さんには、峰高生そして地域社会の一員として、この新たな試練をしっかりと受け止めて、そして乗り越えてくれることも強く期待したいと思います。

【最後に・・・】

「明けない夜はありません」、「土砂降りの雨も、やがて止みます」

私たち峰高教職員は、皆さんを応援し続けます。私たちは、いつも皆さん側（そば）にいます。そして私たちは、皆さんとともに進んでいきます。安心してください！

令和2年5月25日

校長 長島 雅彦